



膵炎（すいえん）

■ 病気の概要

膵臓は消化酵素とインスリンを作る臓器です。膵炎はこの消化酵素が膵臓自身を消化してしまう（自己消化）炎症です。急性膵炎は突然発症して重篤化することがある一方、慢性膵炎は繰り返す消化器症状として現れます。犬猫どちらにも発症し、脂肪分の多い食事や肥満が主なリスク要因です。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・嘔吐（繰り返す）
- ・食欲不振・まったく食べない
- ・お腹を丸める・前傾姿勢をとる（腹痛のサイン）
- ・下痢
- ・元気消失・ぐったりしている

■ どんな検査をするの？

- ・血液検査（膵臓特異的リパーゼ：PLI 検査を含む）
- ・腹部超音波検査（膵臓の炎症・腫大の確認）
- ・必要に応じてCT 検査（専門施設をご紹介します）
- ・尿検査

■ 治療方法

内科治療

- ・絶食・絶水による膵臓の安静
- ・点滴（脱水補正・電解質管理）
- ・制吐剤・鎮痛剤の投与
- ・消化管保護薬
- ・重症例は入院・集中管理

外科治療

- ・合併症（膵周囲壊死・膿瘍）には外科的ドレナージを検討

■ ご家庭で気をつけること

- ・脂肪分の少ない食事（低脂肪療法食）を継続する
- ・1回の食事量を少なく、回数を増やして与える
- ・人の食べ物（食卓から与えるもの）は与えない
- ・肥満の場合は適正体重への管理
- ・回復後も再発しやすいため、定期的な検査を受ける

■ よくある質問

Q. 何が原因ですか？

A. 脂肪分の多い食事、肥満、特定の薬剤、基礎疾患などが関係します。原因が特定できないこともあります。

Q. 入院が必要ですか？

A. 嘔吐・脱水が強い場合は入院での点滴管理をお勧めします。軽症は通院で対応できることもあります。

Q. 再発しますか？

A. 再発しやすい病気です。食事管理の継続と定期検査が重要です。

Q. どのくらいで回復しますか？

A. 軽症で2～5日、重症では1～2週間以上かかることがあります。

■ なつ動物病院での診療について

超音波検査で膵臓の状態をリアルタイムに評価し、重症度に応じた管理を行います。「嘔吐が続く」「ご飯を食べない」場合はお早めにご来院ください。予約外でも診察しています。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください